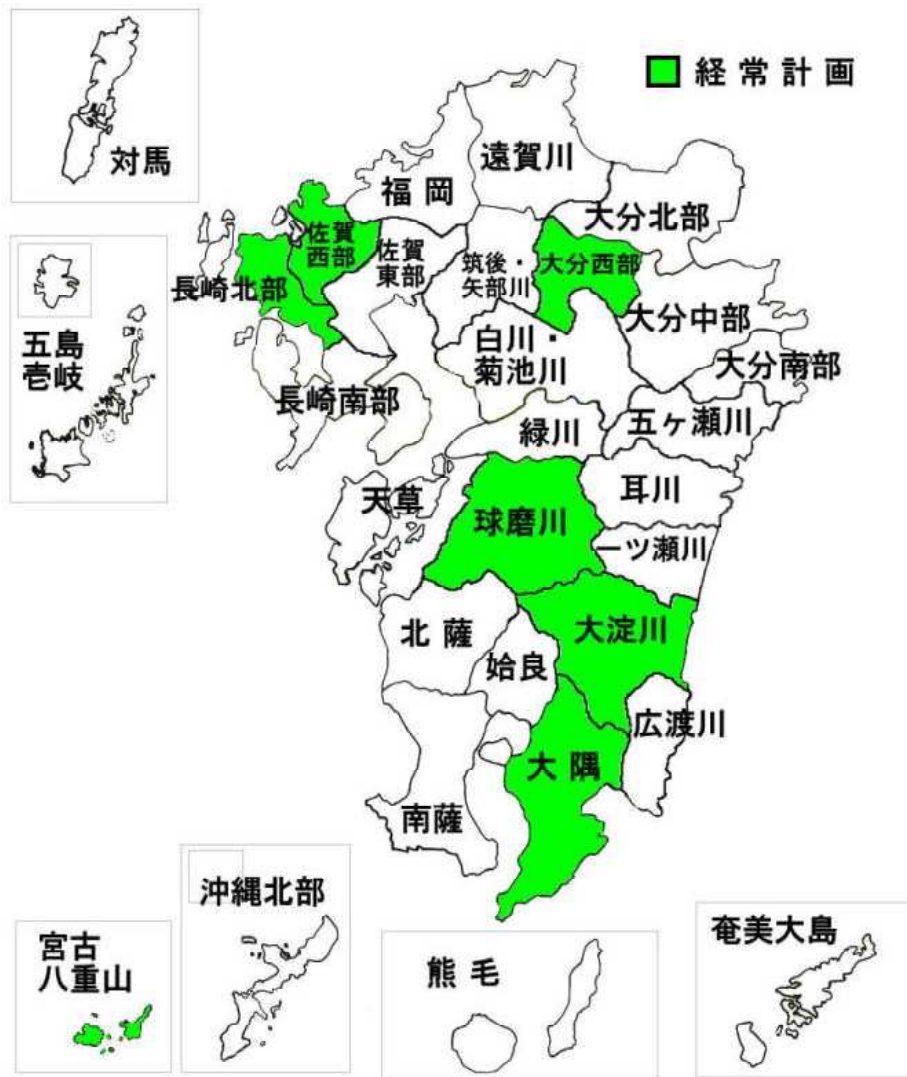


地域管理経営計画(案)等の概要

平成25年1月
九州森林管理局

新たに計画を策定する森林計画区（7計画区）

- 佐賀県「佐賀西部」
- 長崎県「長崎北部」
- 熊本県「球磨川」
- 大分県「大分西部」
- 宮崎県「大淀川」
- 鹿児島県「大隅」
- 沖縄県「宮古八重山」



これら7森林計画区について、今後5年間（平成25年度～平成29年度）の国有林野における管理経営に関する基本的な事項等を定める地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を策定します。

計画内容のポイント

1 計画策定に当たっての基本的な考え方

国有林野の管理経営に関する法律に定める管理経営基本計画に即すとともに、森林法で定める国有林の地域別の森林計画とも調和させながら、民有林行政や地域振興への寄与、林産物の供給にも配慮しつつ、森林の有する公益的機能の維持・増進に重点を置き、開かれた「国民の森林」の実現に向けた取組を推進します。

このため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、次の5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行うこととしています。

○ 山地災害防止タイプ

土砂の流出・崩壊・落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他災害に強い国土基盤の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

○ 自然維持タイプ

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

○ 森林空間利用タイプ

スポーツ又は、レクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林。

自然維持タイプ

○ 快適環境形成タイプ

騒音の低減や大気の浄化、木陰の提供等による気象緩和等人間の住環境を良好な状態に保全する機能を発揮すべき森林。

○ 水源涵養タイプ

国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林。



森林空間利用タイプ



水源涵養タイプ



山地災害防止タイプ



快適環境形成タイプ

2 森林共同施業団地の設定等を通じた流域管理システムの推進

民有林・国有林一体となった森林共同施業団地の設定、低コスト作業システム導入に向けた検討会の開催等を通じ、国有林が先導的な立場に立った流域管理システムを推進することとしています。



3 地球温暖化防止等に向けた積極的な間伐の推進

地球温暖化防止等に貢献するとともに、健全な森林を造成するため、積極的に間伐を推進することとしています。

さらに、間伐により生じた木材（間伐材）の有効利用を図ることとしています。



4 多様で健全な森林の整備・保全の推進

多様で健全な森林の整備・保全を行うこととし、複層状態の森林の整備や針葉樹と広葉樹の混交の促進を行う育成複層林施業、樹齢100年を超えるような森林づくりを行う長伐期施業等を推進することとしています。

特に、育成複層林施業では、単層状態の人工林を対象として、常時複層林状態となる森林へ誘導する長期育成循環林施業にも取り組むこととしています。

5 生物多様性の保全の推進

森林生態系全般に着目して公益的機能の向上に配慮した管理経営を行うとともに、貴重な自然環境を有する天然林等については保護林として設定し、適切に保護・保全を図ることとしています。

※ 保護林とは

国有林独自の森林を保護する制度であり、森林生態系からなる自然環境の維持、貴重な動植物の保護、風致の保護等特に重要な区域について設定しています。

保護林の種類は、①森林生態系保護地域、②森林生物遺伝資源保存林、③林木遺伝資源保存林、④植物群落保護林、⑤特定動物生息地保護林、⑥特定地理等保護林、⑦郷土の森の7種類があります。

今回、計画を策定した森林計画区内にも多数設定されています。

6 安全・安心の確保に向けた治山対策の推進

豪雨や地震等による山地災害等を防止し、被害を最小限にとどめるため、流域全体の保全や地域の安全性を確保するための治山施設を設置することとしています。
また、海岸保安林などでは、その働きが失われないように伐採を制限したり、適切に手を加えるなど、期待される働きを維持できるよう必要な管理を行っていきます。

防風、潮害防備保安林



7 国民参加の森林づくりの推進

「国民の森林^{もり}」としての管理経営を推進することとし、地域住民、NPO、学校、自治体など多様な主体と連携・協働して以下のような活動を推進することとしています。

① ふれあいの森

地域住民やボランティア等が植栽や保育等の森林整備を行う場としてフィールドを提供し、自主的な森林整備活動を推進。

② 遊々の森

学校等と協定を締結し、「総合的な学習の時間」の中で体験林業を行う場としてフィールドを提供し、森林環境教育を推進。

③ 巨樹・巨木の保全活動

国有林内に生存する巨樹・巨木を、国民共有の財産として地域の皆さんと将来にわたって保全。

④ このほか、多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森林づくりを推進。



8 新しい作業システムや技術の普及の推進

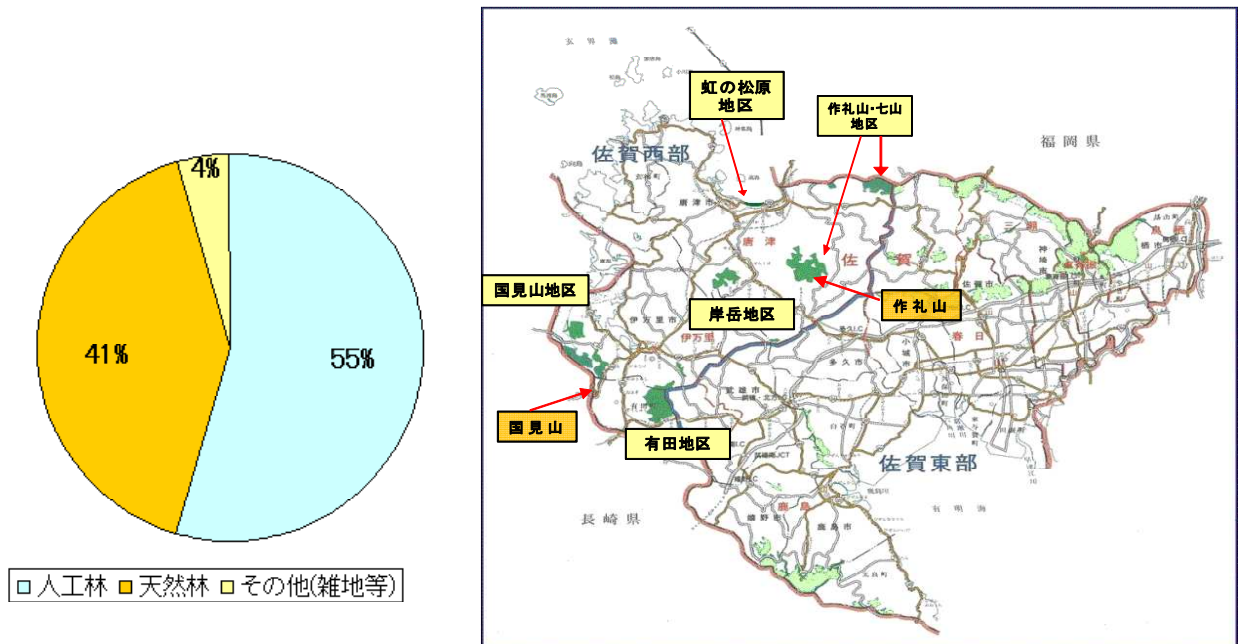
国土の保全、自然環境の保全等に十分配慮しつつ、列状間伐や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの推進及び定着を図ることとしています。

また、曲がり材等を含む間伐材については、需要先へ直送するシステム販売により新規需要開拓と安定的な供給を図るなど、林業・木材産業の活性化に向けて取り組むこととしています。

佐賀西部森林計画区の特徴

本計画の対象は、国有林野5,187haであり、佐賀県の北西部に位置しており、森林の現況は、人工林を主体とした育成林が2,980ha(育成単層林2,842ha、育成複層林 138ha)、天然生林が2,129haとなっており、主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではカシ、クヌギなどとなっています。林相別に見ると針葉樹林2,810ha、針広混交林454ha、広葉樹林1,685haとなっています。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の80%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、虹の松原をはじめとして優れた森林景観にも恵まれていることから、森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



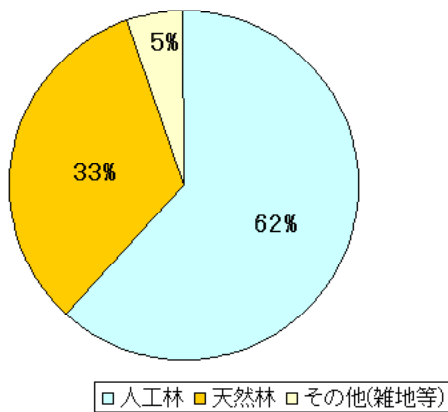
主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

区分	伐採総量 (千m ³)			更新総量 (ha)		林道事業 (km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
計画量	49	76	6	149	-	19	12	142	6

長崎北部森林計画区の特徴

本計画の対象は、長崎北部森林計画区を管轄区域とする国有林野2,376haであり、国見山地区、大村地区の2地区とこれらの中に介在する小団地で形成されています。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が1,468ha（育成単層林1,461ha、育成複層林7ha）、天然生林が785haとなっており、主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではクヌギ、ナラ類、カシ類などとなっています。林相別に見ると針葉樹林1,418ha、針広混交林50ha、広葉樹林785haとなっています。

本計画区は、水源かん養保安林が全体の81%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っています。また、海岸線は変化に富み、その景観の美しさは、西海国立公園や北松県立自然公園に指定されており、中でも、北松浦半島西海岸の九十九島は、全国でも屈指のリアス式海岸として有名です。



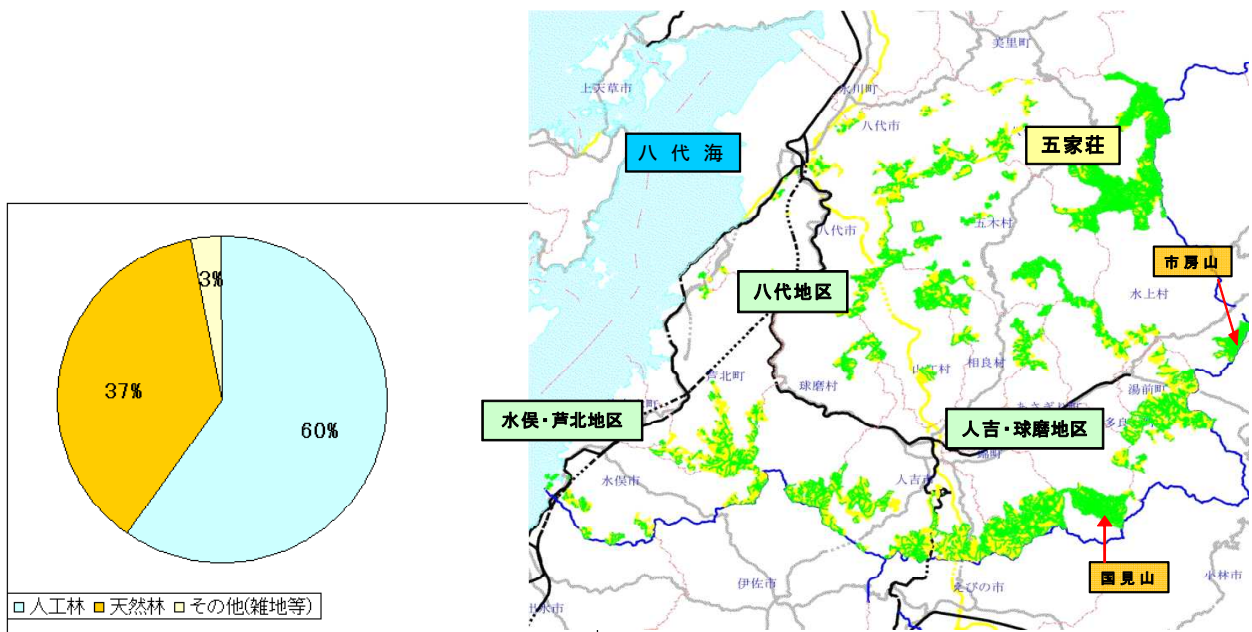
主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

区分	伐採総量 (千m ³)			更新総量 (ha)		林道事業 (km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
計画量	23	65	6	103	-	5	5	100	3

球磨川森林計画区の特徴

本計画の対象は、球磨川森林計画区を管轄区域とする国有林野 37,063haであり、熊本県の南部に位置し、八代市、人吉市、水俣市、八代郡、葦北郡及び球磨郡の3市7町5村に所在しており、球磨川の源流部から河口部までの区域です。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が23,281ha(育成単層林22,264ha、育成複層林1,017ha)、天然生林が12,621haとなっており、主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではシイ類、カシ類などとなっています。林相別に見ると針葉樹林20,653ha、針広混交林4,408ha、広葉樹林10,841haとなっています。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の89%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、渓谷豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源に恵まれていることから登山などの森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されています。さらに、従来よりスギ・ヒノキの人工造林が盛んで、豊かな森林資源を利用した木材加工業等が高度に発達し、地域の重要な産業となっています。なお、本計画区の森林は、熊本県とともに平成19年3月に「緑の循環」認証会議(SGEC)より、認証森林として認証されているところです。



主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

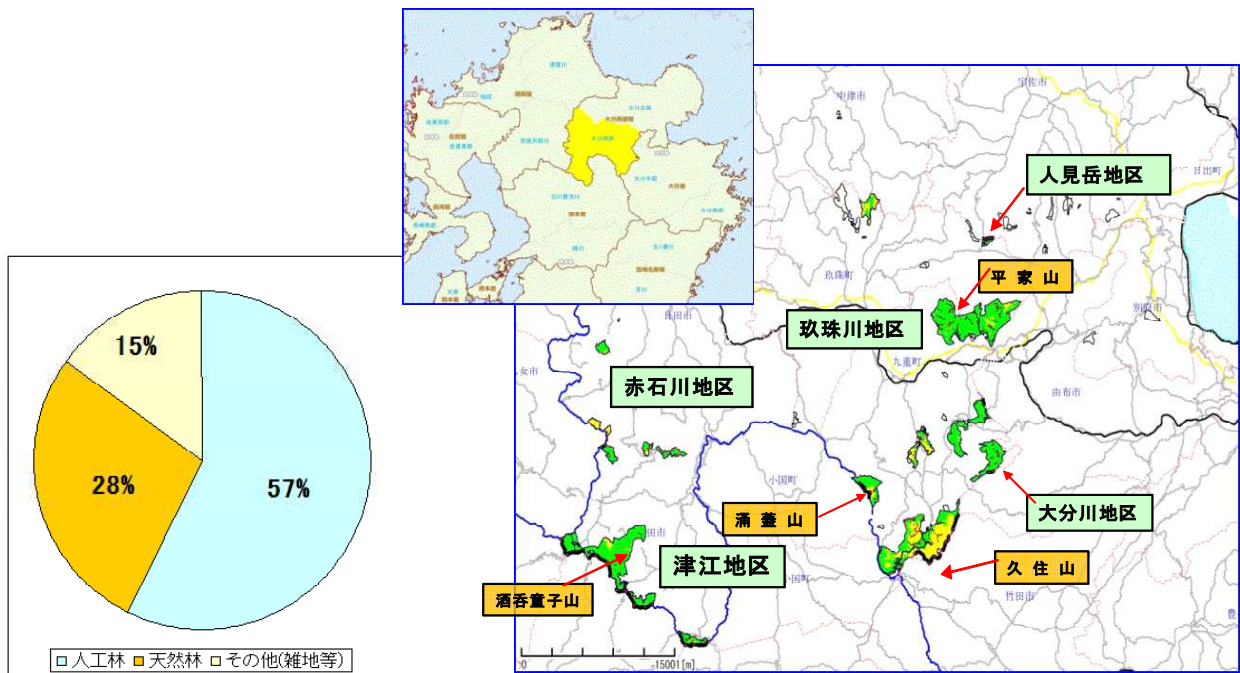
区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	220	715	49	513	141	39	10	2,651	359

大分西部森林計画区の特徴

本計画の対象は、大分西部森林計画区を管轄区域とする国有林野7,857haであり、筑後川の源流部に位置しています。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が4,811ha（育成単層林4,563ha、育成複層林248ha）、天然生林が1,844haとなっています。主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではクヌギ、ナラ類、カエデ類などとなっており、林相別に見ると針葉樹林3,395ha、針広混交林1,143ha、広葉樹林2,117haとなっています。

本計画区は、水源かん養保安林が全体の89%に達し、下流の筑後平野及び福岡都市圏の水源地として重要な役割を担っているところです。

また、くじゅう連山一体の国有林野は、阿蘇くじゅう国立公園に指定されており、渓谷や優れた森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、登山などの森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されているとともに、森林資源を利用した木材加工業等も地域の重要な産業となっています。



主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

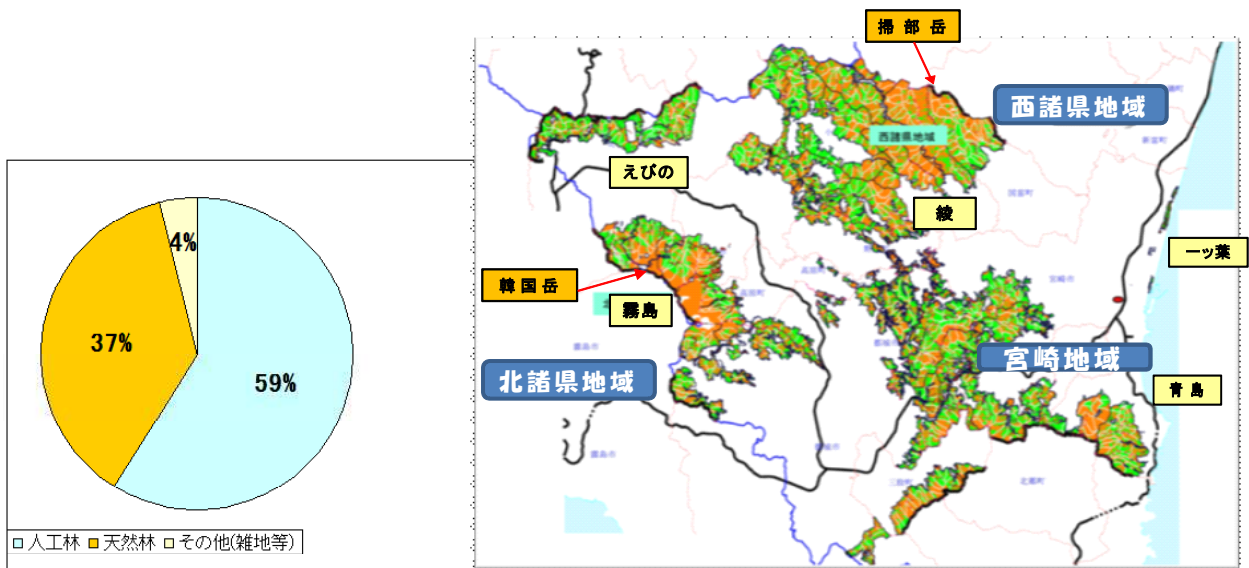
区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	41	180	14	107	144	64	19	170	28

大淀川森林計画区の特徴

本計画の対象は、大淀川森林計画区を管轄区域とする国有林野89,346haであり、宮崎県中央部に位置し、大淀川流域を包括する4市2郡(4町)からなり、大淀川の源流部から海岸に分布しています。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が54,601ha(育成単層林52,820ha、育成複層林1,781ha)、天然生林が31,176haとなっています。主な樹種として針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではカシ類、ナラ類、クヌギなどとなっており、林相別に見ると針葉樹林48,169ha、針広混交林7,591ha、広葉樹林30,082haとなっています。

本計画区には、掃部岳(1,223m)、国見山(861m)、高千穂峰(1,574m)、韓国岳(1,700m)に代表される山岳からなり、急峻な地形を呈しており、霧島山系一帯は霧島錦江湾国立公園に指定されているなど自然環境の保存・形成等に重要な役割を果たしています。

また、水源かん養保安林が全体の75%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、渓谷豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源に恵まれていることから登山などの森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されています。さらに、本計画区4市4町は木材産業に対する依存度が極めて高いため、民有林との連携を図りながら林業・林産業の振興を図ることが地域の重要な課題となっているところです。



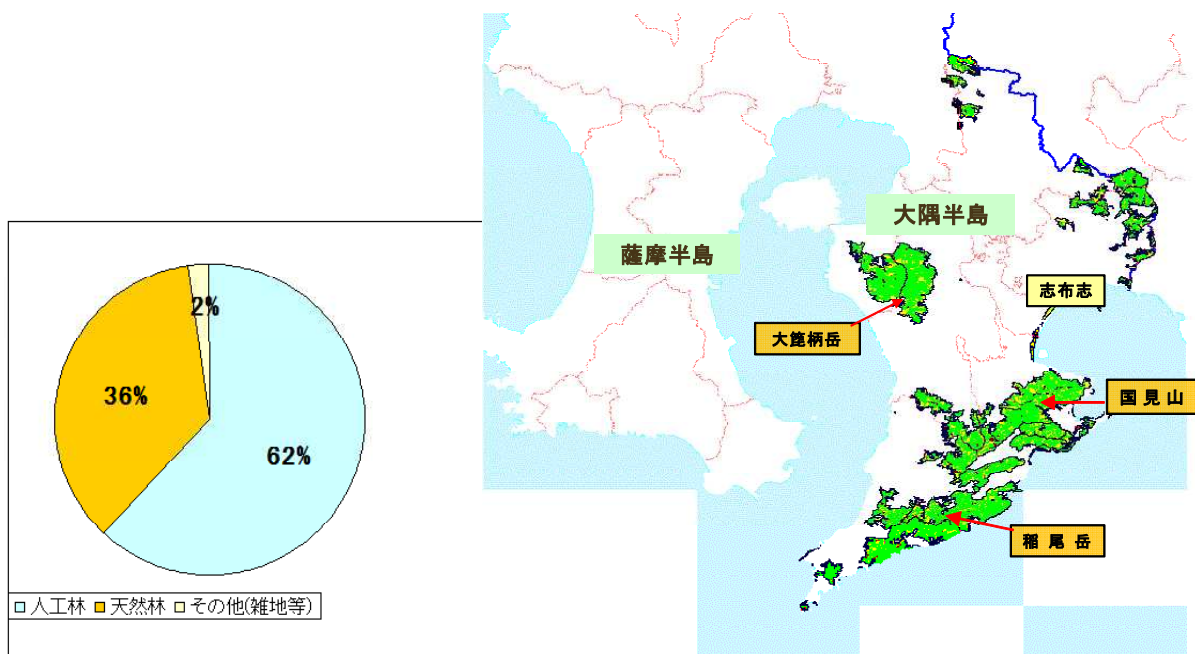
主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	649	1,518	105	1,451	182	197	33	769	114

大隅森林計画区の特徴

本計画の対象は、大隅森林計画区を管轄区域とする国有林野48,890haであり、鹿児島県東部に、大隅半島の最南端から北部にかけて位置しています。西部には、大籠柄岳(1,237m)を主峰とする高隈山系があり、北部は宮崎県境、霧島山系、東南部には、国見山(887m)を主峰とする国見山系や稲尾岳があり、太平洋に注ぐ安楽川や菱田川、鹿児島湾に注ぐ高須川、本城川等の河川の集水域であります。森林の現況は、人工林を主体とした育成林が32,286ha(育成単層林30,276ha、育成複層林2,010ha)、天然生林が15,497haとなっています。主な樹種としては針葉樹はスギ、ヒノキ、広葉樹ではカシ類、シイ類、タブノキなどとなっており、林相別に見ると針葉樹林21,984ha、針広混交林9,273ha、広葉樹林16,527haとなっています。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の71%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、渓谷豊かな森林景観、照葉樹の森など豊富な観光資源に恵まれていることから登山などの森林レクリエーション・保健休養の場として多くの人に利用されているとともに、森林資源を利用した木材加工業等も地域の重要な産業でもあります。



主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

区分	伐採総量 (千m ³)			更新総量 (ha)		林道事業 (km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備 (ha)	保全施設 (箇所)
計画量	199	782	19	467	44	43	20	678	53

宮古八重山森林計画区の特徴

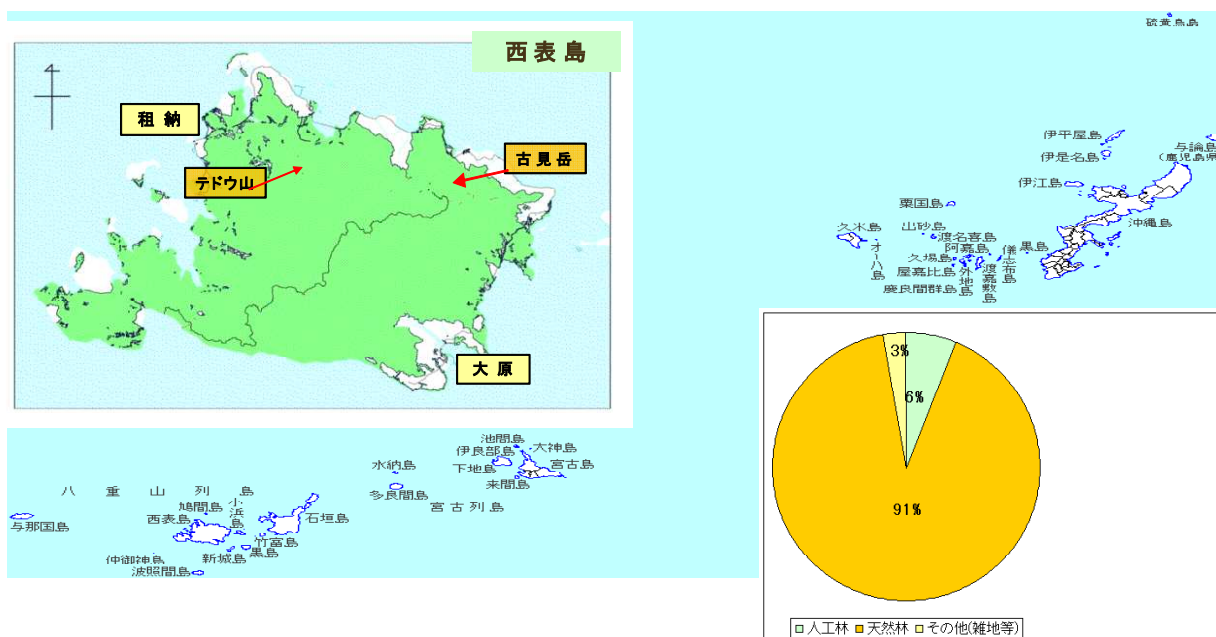
本計画の対象は、宮古八重山森林計画区を管轄区域とする国有林野25,034haであり、主に八重山群島最大の島である西表島(竹富町)に位置し、西表島全体面積の88%を占めている他、八重山群島の与那国島(与那国町)、波照間島(竹富町)等の島々にも散在しています。

計画の中心となる西表島の中央部は古見岳(470m)、テドウ山(442m)等、標高400m級の山々が緩やかな尾根を連ねる山岳地帯で、多くは海に向かって広い海岸段丘を形成していますが、島の南西部には山が海に迫る高さ200m以上の絶壁も見られます。

本地域には、イリオモテヤマネコやカンムリワシ等の貴重な野生動物が生息し、また、天然保護区域や希少な植物群落があり、これらのほとんどは国有林となっていることにより、島の中心部を含む地域は西表島森林生態系保護地域(20,471ha)に設定している他、国立公園特別地域にも指定されているなど、希少野生動植物の保護をはじめとして自然環境の保全・形成を図ることが期待されているところです。

森林の現況は、人工林を主体とした育成林が1,465ha(育成単層林1,465ha)、天然生林が22,315haとなっており、主な樹種としては針葉樹はリュウキュウマツ、広葉樹ではスタジイ、イスノキ、タブノキなど、林相別に見ると針葉樹林1,187ha、針広混交林793ha、広葉樹林21,800haとなっています。

また、本計画区は、水源かん養保安林が全体の66%に達し、下流域の水瓶として重要な役割を担っているほか、優れた森林景観にも恵まれていることから、森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



主要事業量(平成25年4月1日～平成30年3月31日)

区分	伐採総量(千m ³)			更新総量(ha)		林道事業(km)		治山事業	
	主伐	間伐	臨時伐採量	人工造林	天然更新	開設	改良	保安林整備(ha)	保全施設(箇所)
計画量	-	-	6	-	-	-	-	5	7

地域管理経営計画等の変更(案)の概要

平成25年1月
九州森林管理局

変更する森林計画区（23計画区）

- 福岡県 「遠賀川」「福岡」「筑後・矢部川」
- 佐賀県 「佐賀東部」
- 長崎県 「長崎南部」「五島老岐」「対馬」
- 熊本県 「白川・菊池川」「緑川」「天草」
- 大分県 「大分北部」「大分中部」「大分南部」
- 宮崎県 「五ヶ瀬川」「耳川」「一ツ瀬川」「広渡川」
- 鹿児島県 「北薩」「始良」「南薩」「熊毛」「奄美大島」
- 沖縄県 「沖縄北部」



【機能類型の変更】

国有林野管理経営規程の見直し等により、5タイプの機能類型に一斉変更する。
 なお、奄美大島については森林生態系保護地域の設定に伴う変更も、併せて行う。

単位：ha

森林計画区	区分	山地災害 防止タイ プ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイ プ	快適環 境形成 タイプ	水源かん 養タイプ	計
遠賀川	変更計画 (案)	3,426	717	1,534	-	6,212	11,889
福岡	変更計画 (案)	2,640	1,006	348	-	3,776	7,770
筑後・矢部川	変更計画 (案)	724	16	208	-	3,079	4,027
佐賀東部	変更計画 (案)	3,464	164	256	-	6,237	10,122
長崎南部	変更計画 (案)	2,616	2,475	376	-	6,430	11,897
五島吉岐	変更計画 (案)	388	726	-	-	1,969	3,083
対馬	変更計画 (案)	1,058	732	62	-	2,365	4,217
白川・ 菊池川	変更計画 (案)	1,179	924	2,514	-	5,859	10,476
緑川	変更計画 (案)	2,537	2,033	208	-	8,804	13,582
天草	変更計画 (案)	95	20	-	-	723	838
大分北部	変更計画 (案)	933	331	925	-	4,253	6,441
大分中部	変更計画 (案)	1,488	3,763	1,714	-	8,645	15,610
大分南部	変更計画 (案)	1,570	1,047	-	-	11,191	13,808
五ヶ瀬川	変更計画 (案)	5,884	4,012	295	-	10,082	20,273
耳川	変更計画 (案)	2,711	2,105	149	-	7,120	12,085
一ツ瀬川	変更計画 (案)	6,946	793	208	-	18,693	26,640
広渡川	変更計画 (案)	5,869	47	222	-	22,949	29,086
北薩	変更計画 (案)	6,118	81	172	-	25,670	32,041
始良	変更計画 (案)	741	2,026	179	-	8,006	10,952
南薩	変更計画 (案)	1,724	687	1,725	-	6,287	9,973
熊毛	変更計画 (案)	9,043	16,627	197	-	15,877	41,744
奄美大島	変更計画 (案)	645	6,219	-	-	1,057	7,921
沖縄北部	変更計画 (案)	-	-	-	-	4,581	4,581

【伐採総量等の変更】

地球温暖化防止や健全で多様な森林の造成等の観点から、森林整備のための効率的な間伐等を推進するため、伐採総量等を変更する。

①伐採総量

単位：千m³

森林計画区	区分	主伐	間伐	臨時伐採
白川・菊池川	現計画	134	257	18
	変更計画(案)	148	264	18
緑川	現計画	25	294	5
	変更計画(案)	30	295	5
大分北部	現計画	32	209	17
	変更計画(案)	32	215	17
大分南部	現計画	49	301	18
	変更計画(案)	49	330	18

②更新総量

単位：ha

森林計画区	区分	人工造林	天然更新
白川・菊池川	現計画	243	145
	変更計画(案)	329	145
緑川	現計画	69	1
	変更計画(案)	104	1
大分北部	現計画	52	74
	変更計画(案)	52	74
大分南部	現計画	107	25
	変更計画(案)	107	25

③保育総量

単位：ha

森林計画区	区分	下刈	つる切	除伐	枝打	ぼう芽整理
白川・菊池川	現計画	342	60	118	-	41
	変更計画(案)	549	45	82	-	78
緑川	現計画	218	64	175	-	-
	変更計画(案)	235	55	108	-	1
大分北部	現計画	253	11	68	-	5
	変更計画(案)	253	11	68	-	5
大分南部	現計画	685	72	88	-	-
	変更計画(案)	685	72	88	-	-

【林道開設計画の変更】

健全で多様な森林の造成等の観点から、効率的な作業システムを構築するために林道の開設計画を変更する。

森林計画区	区分	開設	
		路線数	延長量(km)
佐賀東部	現計画	10	18
	変更計画(案)	16	32
広渡川	現計画	25	64
	変更計画(案)	26	66

【国有林野の管理経営に関する基本的な事項の変更】

「地域管理経営計画書、国有林野施業実施計画書及び伐採造林計画簿作成様式について」の一部改正に基づいた変更を行うこととし、国有林野の管理経営に関する法律第6条及び国有林野管理経営規程第6条第8項に基づき、全森林計画区において変更することとする。